

熱川温泉病院

小林 利恵(7.8F 病棟師長) 宇野 恵理(6F 病棟師長)

- 功 績** 看護部長不在の約一年間を、部長代理として看護部を運営・管理して、無事その大任を果たした功績。
- 推 薦 者** 宮本 純代
- 推 薦 理 由** 綿密な情報共有の下、本部の指導を受けつつ、両名が軸になるスタイルで看護部を率いてきました。また、自病棟・看護部全体の両面運営に当たるといふ負荷を撥ね退け、自らも大きく成長してきました。この1年間の功績は大きいものがありますので、理事長賞にご推薦申し上げます。

内 容

両名の代理業務は、情報や管理帳票が集中する看護部長室を拠点に、交代制で、必要情報を共有し、迅速で誤りのない判断が下せるよう、相互に「見える化」して挑みました。それには、本部坂元顧問の支援、Ma-Dのサポートもあり、以下に類型される重点項目を遂行しました。

- 「情報共有」→代理業務の成否を左右する通過点で、労力を要した。(「連絡ノート」→空床管理やインシデント対応等の相互連携情報・「面接シート」→人材確保迅速化に有益な面接時記録の共有・「職員配置ボード」→日々管理は緊急時職員配置変更と病棟別定数管理による不均衡防止に必須)

※特に職員配置が各病棟苦しく、看護部長職不在による不公平感払拭に努めた。

- 「患者管理」→夜勤帯・日勤帯の重症患者・インシデントほか入院・外来・透析患者動向の把握と管理(場合によって報告から対策・予防までの指導)

※特にインシデント発生時、即対応し自病棟管理と平行して他病棟介入に苦心した

- 「ベッドコントロール」→入院受入や転棟(空床管理面での病棟割振り・

医療区分勘案した病棟割振り・回復期と療養への割振り・回復期期限切れ患者転棟等)の諸判断を他病棟主任を交えて差配した

※特に医療区分の変化による転棟調整に力を注いだ

- 「職員管理」→病棟間人員調整・勤務欠勤状況管理等、日々変化する状況に対応し、代理として主任クラスやスタッフ教育も怠らなかった

※特に通常見えてこない夜勤帯勤務状況把握に努め、冬季感染対策に苦勞した。

このような一年間にわたる患者・職員の管理業務はもとより、コンプライアンス面からも、看護部長職が管理する帳票類に不備は見られず、両名は大所高所のみならず、細かい点でも大変苦勞があったものと思われま